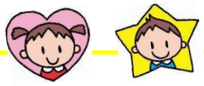
お化け屋敷ごっこ

きくぐみ（5歳児）

7月後半～8月前半

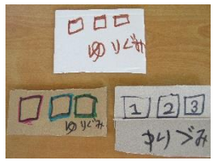
保育園まつりで、だるまちゃんランドをお家の人に見てもらったり、一緒に遊んだりしてとっても嬉しかった、きくぐみさん！　達成感や満足感を味わった子ども達は、「次は、お化け屋敷にしたい！」「去年のきく組さんがやってたみたいなお化け屋敷！」「小さい子を呼びたい！」と、やりたい遊びが出てきました。さあ、どんなお化け屋敷になるのかな？

どんなお化け屋敷にしたいか、クラスみんなで意見を出し合うことができるようにしました。



「お客さん呼ぶのには、チケットがいるんじゃない！」
「机の下に隠れたり、光や大きな音で、ビックリさせたいなぁ～！」
「小さい子、きっと怖がって入れないから、手をつないで一緒に歩いてあげようよ！」
「矢印をつけると、歩く場所がわかりやすいんじゃないかな～」

★チケット・順路づくり★



★おばけ演出★

★光の演出★
ブラックライト・懐中電灯など

おばけだぞ～！！

★音の演出★
太鼓・ピアノ・おばけの CD など

さあ！お客さんを呼ぼう！

一緒に行こう！
怖くないよ～♡

チケットにスタンプ押すよ♡

足を触ると、
ビックリするよ！！

こっちおいで～♡
大丈夫だよ♥

あの、かざぐるまおばけにタッチしたら終わりだよ。がんばれ～！

★道徳性・規範意識の芽生え★

始めは、お化け屋敷ごっこを通して、年下の友達を驚かせたい、怖がらせたいという思いが強かったものの、怖がっている年下の友達を見たり想像したりすると、自分の気持ちより相手の気持ちを優先し、“手をつなぐと怖くないかな”“優しく声を掛けると安心するかな”“わかりやすいよう矢印を付けると歩きやすいかな”など、小さい友達の気持ちを考えながら工夫する姿が見られました。

相手の立場に立ったり、相手の気持ちを考えたりする心が育ってきています！